



2014秋季号

[vol.21]

発行責任者：松崎 秀雄
 事務局：熊本市中央区水前寺 3-9-5
 (株)ヤマックス内(〒862-0950)
 NPO法人九州コンクリート製品協会
 編集責任者：上田 泰博
 発行年月：平成26年 9月

九州コンクリート製品協会 会員名簿

会員会社名	県	住所	TEL
麻生商事(株)	福岡	820-0609 福岡県嘉穂郡桂川町吉隈 430-27	0948-20-2020
大野コンクリート(株)	福岡	819-0036 福岡県福岡市西区大字吉武 61-1	092-811-6677
(株)柏木興産	福岡	812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田 1丁目27番1	092-473-7858
(株)九コン	福岡	810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸 3丁目4番16号	092-741-5731
九州高圧コンクリート工業(株)	福岡	815-0035 福岡県福岡市南区向野 1丁目13番14号	092-554-6660
共和コンクリート工業(株)九州営業部	福岡	812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町 8番24号	092-262-5755
小倉セメント製品工業(株)	福岡	802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘 3-11-10	093-921-0136
大建コンクリート工業(株)	福岡	838-0223 福岡県朝倉郡筑前町砥上 2220	0946-42-3131
中里産業(株)	福岡	822-1405 福岡県田川郡香春町中津原 2787	0947-32-2132
長谷川トラフ(株)	福岡	824-0022 福岡県行橋市大字稲童 3646番地1	0930-23-1779
本田工業(株)	福岡	839-1342 福岡県うきは市吉井町生葉 636	0943-75-4161
水谷建設工業(株)	福岡	825-0001 福岡県田川市大字伊加利 2193番地	0947-44-2111
安永セメント工業(有)	福岡	833-0012 福岡県筑後市大字溝口 920-1	0942-53-3329
(株)ヤマウ	福岡	811-1102 福岡県福岡市早良区東入部 5丁目15-7	092-872-3301
大協コンクリート(株)	佐賀	842-0121 佐賀県神埼市神埼町志波屋 1956	0952-52-9763
不二コンクリート工業(株)	佐賀	843-0233 佐賀県武雄市東川登町大字永野 7552-2	0954-23-1211
馬渡商会(株)	佐賀	843-0001 佐賀県武雄市朝日町大字甘久 3498-2	0954-23-4145
H.O.C(株)	長崎	856-0835 長崎県大村市久原 2丁目1533-2	0957-53-2112
三和コンクリート工業(株)	熊本	863-0021 熊本県天草市港町 16-13	0969-22-5124
土佐屋コンクリート工業(株)	熊本	860-0863 熊本県熊本市中央区坪井 6丁目38番15号	096-343-3855
不二高圧コンクリート(株)	熊本	861-4114 熊本県熊本市南区野田 1丁目4番72号	096-358-8585
南九州コンクリート(株)	熊本	866-0033 熊本県八代市港町 262番地の26	0965-37-0124
(株)ヤマックス	熊本	862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺 3丁目9番5号	096-381-6300
(株)和商一	熊本	868-0415 熊本県球磨郡あさぎり町免田西 3003-2	0966-45-1251
(株)池永セメント工業所	大分	879-7761 大分県大分市大字中戸次 4763	097-597-3113
大建コンクリート(株)	大分	879-1313 大分県杵築市山香町速見インター工業団地	0977-44-6262
九州中川ヒューム管工業(株)	宮崎	880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20048	0985-73-1511
インフラテック(株)	鹿児島	890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎 2丁目7番25号	099-252-9911
鹿児島共和コンクリート工業(株)	鹿児島	892-0821 鹿児島県鹿児島市名山町 1番3号	099-225-3881
(有)太陽コンクリート工業	鹿児島	891-0144 鹿児島県鹿児島市光山 2丁目1番60号	099-261-6911
(株)大建	鹿児島	891-1301 鹿児島県鹿児島市西佐多町 942番地1	099-295-1151

会員会社名	県	住所	TEL
(株)浜崎コンクリート工業	鹿児島	894-1508 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1114-69	0997-72-1179
北南コンクリート(株)	鹿児島	891-3101 鹿児島県西之表市西之表 14175番地	0997-23-1878
(株)技建	沖縄	891-3101 沖縄県南城市大里字古堅 1246番地	098-945-2787
麻生セメント(株)福岡支店	福岡	814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜二丁目4番27号	092-833-5110
(有)稲佐鉄工所	福岡	824-0043 福岡県行橋市大字流末 1138-1	0930-23-3233
宇島技研(有)	福岡	828-0022 福岡県豊前市大字宇島 522番20	0979-82-2811
宇部三菱セメント(株)九州支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1丁目12番20号	092-752-6101
(有)オンガ	福岡	811-4301 福岡県速賀郡速賀町島津 464-1	093-293-3635
住友大阪セメント(株)福岡支店	福岡	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目2番5号	092-441-1441
(株)ダイクレ九州支店	福岡	816-0931 福岡県福岡市博多区店屋町 5番18号	092-262-8765
太平洋セメント(株)九州支店	福岡	812-0018 福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25	092-263-8455
(株)チヨダマシナリ福岡支店	福岡	816-0912 福岡県大野城市牛頭 4丁目4-21-102	092-596-8314
(株)トクヤマ福岡支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1丁目14番16号	092-732-6677
西村工業(株)	福岡	820-1111 福岡県飯塚市勢田 2067-9	09496-6-4117
日工(株)九州支店	福岡	816-0931 福岡県大野城市筒井 1丁目11番28号	092-574-6211
日吉化学工業(株)	福岡	808-0074 福岡県北九州市若松区藤ノ木 3丁目2番39号	093-791-3233
ヒロセ(株)補強土橋梁部	福岡	812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町 2番1号	092-283-7320
福岡金網工業(株)	福岡	812-0041 福岡県福岡市博多区古塚 1丁目3番11号	092-621-3000
森山工業(株)	福岡	830-0075 福岡県久留米市大善寺町黒田 53-1	0942-27-1147
(有)大東運輸	長崎	859-1414 長崎県島原市有明町大三東丁 671-1	0957-68-1800
(株)不二宮製作所	熊本	864-0025 熊本県荒尾市高浜字前 1825-50	0968-68-1318
(株)宝機材	岐阜	501-0222 岐阜県瑞穂市別府 1723-1	058-327-2222
トヨタ工機(株)	東京	183-0035 東京都府中市四谷 6丁目12-8	0952-53-2131
(株)日栄商事	岐阜	501-6236 岐阜県羽島市江吉良町江中 7-16	058-398-3611
富国石油(株)	静岡	410-0011 静岡県沼津市岡宮 949番地の8	055-921-4331

(平成26年9月1日 現在)

CONPAS は
 インターネットでも閲覧可能です!!

九州コンクリート製品協会

九州コンクリート製品協会HPより
 Web Conpasのサイトに移動して下さい。

第八回(平成26年度)通常総会 福岡市で開催

平成26年6月2日(月)に「第八回(平成26年度)通常総会」が福岡市の八幡閣で開催され、来賓及び会員社並びに会員外社を含めて約130名が出席しました。恒例による



総会会場全景



会長挨拶(松崎会長)

「これまで、民主党への政権交代や公共事業投資の大幅な削減など、我々コンクリート

不良資産の処理や社員給与アップの検討も
 市場調査委員会が作成したレポートによると、平成

〈会長挨拶の要旨〉

人手不足解消にコンクリート二次製品の特性アピールを

景気浮揚としての公共事業の即効性、防災・減災への観

バブル時代の轍を踏まず、いま企業体力をつけるとき

「下瀬副会長が総会の開会を宣言。その中で、プレコン管理士制度の立上げと初めての試験実施について

説明、あわせて会員の協力に対する謝辞を述べました。(詳細2面に掲載)



編集後記

南米チリ沖のエルニーニョ現象が今年は観測史上最大級であつたらしい。だから今年の夏は冷夏、梅雨から夏を飛び越えて秋の気配がするようになりました。しかしこの冷夏は驚異的な豪雨を伴うかもしれないという予測通り広島市では甚大な被害が起こってしまいました。亡くなられた方々には深くお悔やみ申し上げます。

火山、地震、津波、台風、豪雨。残念ながら日本列島はそのすべてで世界有数の潜在的災害保有国家です。しかし多雨のおかげでおいしいコメが実り、多発する洪水のおかげで進んだ護岸技術が発達してきたのも事実です。マイナスを逆手にとつてしたたかに闘う根性が技術を磨き強い国づくりへ向かう。そんな気がします。

活気にあふれる我々コンクリート製品業界へ。そして会員の親睦がパワーに。この小紙コンパスもしたたかに頑張ります。ご支援よろしくお願ひします。

広報委員長(福岡)上田泰博 記

※本文中のカットは馬出博文氏(中津市在住)の作品です。
 ※住所変更などある場合は、早めに事務局へご連絡ください。



広告ディレクター 松山直英

前頁より
 う。でも社内の人の見る目は決して彼は凡庸ではない。技術的にも営業的にも難しいと思われるプロジェクトにはおおむね彼が選ばれてその任に当たっていることでそれが分かる。

「能ある鷹は爪を隠す」というが、彼はわざわざ爪を隠すような無理をしているわけではない。当たり前にそれが出来ているようである。すべてが彼の自然体であり、無理がないのだから。天性の性格に彼が付けて加えた努力が結晶したのではないかと思う。突出して目立つた、落ちこぼれてたりしない、ごく普通の会社員、「一流」と呼ぶのにふさわしい社員である。

会社にとっても一人の傑出した人物が周りを引きずっていくよりも、会社全体の組織でいい成績を残せた方がずっと安定がいい。会社の創業時期とか新しい技術革新に挑戦するときには斬新な頭脳と卓越した営業力の人材が必要だと思いが、平時の安定した会社には組織のパワーが最も頼りになるのだと思うのである。

MOMENT

初夏の北九州市八幡の皿倉山。帆柱ケーブルで展望台に着いたら、目の前の青い空にポッカリと浮かんだ深紅のパラグライダー。思わず撮った一枚です。

広告ディレクター 松山 直英



Humor in English

Three absentminded professors (忘れっぽい大学教授) が駅のホームで難しい哲学の問題を議論しています。3人はあまりに熱中していたので電車が入ってきたのに気がませんでした。ベルが鳴り終わる頃、そのうちの2人が飛び乗ったけど、3番目の人は残されてしまいました。

それを見ていた人が彼に寄ってきて "That was too

bad, but, hey, two out three make it on the train and that's not a bad average" (残念だったね。でもさ、3人のうち2人乗れたのだから悪い比率じゃないね) と云ったら、教授は "But they came to see me off" (でも彼らは僕を見送りにきたんだよ) と応えました。(NHK遠山顕のラジオ英会話6月放送より)

広告ディレクター 松山 直英



25年度の出荷は北部九州豪雨災害復旧や東九州自動車道整備、政府の緊急経済対策に加え、民需としての太陽光発電用の架台などの活発な需要に支えられ、前年度比で10%程度の増加見込である。平成26年度においてもその傾向が継続する見込みである。良い時期はまだ続くとは思いますが、こういう時期だからこそ我々はバブル時代の轍を踏まないようにすることが肝要である。可能な範囲で不良資産の処理や社員の給与を上げるなどの検討をし、企業体力を付けるべき時期だと考える。今こそ我々コンクリート製品業界は社会資本の整備を推進する中で、国民の皆様の安全・安心な生活を提供するという高邁な原点に立ち返ることが求められている。会員の皆様には、当業界の求められている役割を十分ご理解いただきたい。当協会が会員の皆様の活動を支え、一翼を担えればと考えている。

本総会前に行われた技術委員会活動報告で、「プレコン管理士制度の立上げと初めての試験実施」が技術委員長から報告された。この取り組みは、当NPO法人の前進である任意団体設立から11年を経て、当初から目標としてきた「資格制度」検査基準の確立」という2本の矢に対して、やっと片方の「資格制」が立上がり、緒に就いたものである。これもひとえに会員の皆様のご理解・ご協力があったことであると感謝している。技術委員会は協会設立以来、毎月1回の会議を開催しており、コンクリート技術や診断士等の講習会も実施しながら、プレコン管理士制度を立ち上げた。この2回の開催で180名の方が受講した。また、プレコン管理士テキストは既に会員各社の社内勉強会に活用されていると聞いている。是非各社の社員の皆さんに今年度も多数の受講をいただければ、会社として働きかけをお願したい。その結果が協会及び業界の認知度向上につながるものと確信している。

○会長挨拶の後、国土交通省九州地方整備局・岩崎局長の来賓挨拶
 ○議長審議にうつり、平成25年度の事業及び収支に関する議案、役員改選に関する議案(詳細4面掲載)、会費等徴収規程改訂に関する議案、平成26年度の事業及び収支に関する議案がすべて原案通り承認可決されました。

○なお、池永亀一郎氏の理事退任に伴い、新任理事として池永征司氏(株式会社池永セメント工業所 代表取締役社長)が総会で選任され、同氏より就任に際しての挨拶がありました。その後、今年3月に初めて実施したプレコン管理士試験における最優秀成績者表彰(詳細5面)で、第1回試験の最高得点者の浦上公貴氏(不二高圧コンクリート株式会社)が表彰されました。最後に茂森副会長が、閉会宣言を述べて通常総会が閉会されました。

○総会終了後、国土交通省九州地方整備局総括防災調整官の下田孝徳氏による「防災・減災の取り組みについて」と題する講演。(詳細12、13面)

○引き続き懇親会開催へ。懇親

その他の主な報告事項

会で、冒頭に新副会長に任命された中村副会長が挨拶し、KyupEC学界正会員の九州共立大学・牧角教授が乾杯の発声。通常総会から出席された来賓に加え、多数の参加者で盛会のうちに終了しました。

○翌日は「九州かたまり会第二十一回懇親ゴルフコンペ」がザ・クイーンズヒルゴルフクラブで開催され、本総会のプログラムがすべて終了しました。



三役来賓席



受付スタッフ



総会司会 (松山総務企画委員)



会計監査報告 (柏木監事)



来賓挨拶 (岩崎局長)



閉会宣言 (茂森副会長)



九州かたまり会案内 (入江理事)



プレコン管理士試験最優秀成績者表彰



新・世界の三大夜景

H・O・C株式会社 内田 辰郎



「世界新三大夜景」の認定を受けた長崎の夜景

すこし前の話ではあります。2012年10月5日に長崎で開催された「夜景サミット2012 in 長崎」において、香港、モナコに並び長崎が世界を代表する夜景都市「世界新三大夜景」として認定されました。認定は「夜景サミット」の主催者でもあり、日本最大のネットワークを誇る一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローの会員「夜景観賞士」3,500人へのアンケートを交えた、厳正な審査によるものとのことであり、長崎のすり鉢状の地形が生み出す立体的な夜景、稲佐山・鍋冠山・風頭公園など多方向からの俯瞰的な夜景の美しさなどが、きわめて高い評価を

得たとのことです。その選出にあたっては、新三大夜景の基準として設定された項目があります。

- ① 対象となる都市を象徴する俯瞰的夜景が存在していること
- ② 観賞できる俯瞰的夜景に対してアプローチ可能な複数の視点場が存在していること
- ③ これら複数の視点場は対岸・対山等に分散し、それぞれが異なる表情を創出していること
- ④ 視点場が整備され、安全性やバリアフリーが確保されていること
- ⑤ 視点場へのアクセスが整備され、充実していること
- ⑥ 対象となる都市において、夜間の観光的魅力を高める演出照明(ライトアップ)があること
- ⑦ 複数の視点場において、夜間の観賞時間が比較的長く設定されていること
- ⑧ 対象となる都市において、複数の夜景種類が混在し、観賞可能なこと
- ⑨ 行政や地域団体、民間企業が

夜景に対する観光的取り組みを行っていること

⑩ 対象となる都市において、歴史的及び文化的夜間イベントがあること

⑪ 国際的な観光への取り組みに積極性を持っていること

以上、全11項目について検証が行われ、認定に至ったようになっています。

しかし「世界三大夜景」という言葉は、もともと日本国内で発案された言葉らしく、さらにその選定を行う夜景サミットが長崎で開催されたこともあり曖昧さがあります。それでも認定後には夜景を自当とした観光客が増えるという、観光業にとって好影響をもたらされていると見られています。

世界には夜景で有名な都市が数ある中、なぜ長崎なのかと地元の間でも感じてしまうような認定ですが、世界三大かどうかは抜きにしても、すり鉢状の地形に沿うように広がる夜景の美しさは一見の価値があると強くお勧めします。



一流の人生(2)

前号・コンパス20号の拙稿「一流の人生」で、NHK大河ドラマ主人公の黒田官兵衛のことを坂口安吾の小説から「一流の人」と書きましたが、今回は私が書いて感じた「普通の二流のひと」を紹介しようと思います。会社の中でいい成績をあげたり、また多くの上司や同僚、後輩とまよくやっていたら、たぶんその意見があるかと思いますが、こんな私の見方はいかがでしょうか。

いま政府で検討している「ホワイトカラー・エグゼンプション」、つまり労基法の規制にとらわれず労働時間に関係なく賃金を支払うことのできる「デキル人」の概念とも無縁の人です。

「家の外における夫は常に正しく、中における妻は常に正しい」という古くからあるこの国の家族ルールを守っているのか、と遊園地に出かけ、帰りにはショッピング、それも家計を預かる妻の指示に従って彼は買物の荷物運びやクルマの運転などをします。

来年にはいま住んでいる社宅を出て新しいマンションに移り住むように購入の手続きを済ませている。もちろん低金利の会社の住宅ローンのお世話になる。

日本国中どこにでもある当たり前の今日のファミリーである。だが、じっくり見ていくとこのカタチをつくり、維持していくための彼なりの心の持ち方があるようである。

まず、「自分の能力や、立場をわきまえること」、次に「組織やその中の人々の気持ちを理解すること」それから「自分はこうあらねばならない」という自分流を身に付けることだと

思うのである。

テレビ番組ではないが、目立ちたがりやさん、出たがりやさんが多いのは、いずこも同じ。会社の中でも自分の実力を大きく評価してもらいたいのは人間の性、気遣いカネ遣いなど無理をしなければならぬのが処世術である。気遣いを悪いとは言わないが、もつといいのは、「分をわきまえた無理のない行動」と気付いた方がいい。

「囊中の錐(すい)」という言葉がある。袋の中に入れた錐きりや釘は袋を突き破って頭を外に出すように、才能のある人はそれを隠しても自然に表に出てきてしまう。「自然体」で人に認められればそれ以上のことはいらない。しかし無理をしているといつかどこかにひずみが出てきてしまう。やはり無理はしない方がいい。自然科学なら真実は一つしかないけれど、集団社会では百人いれば百の意見が出てもおかしくはない。だからいつまでも自分の意見に固執する方がどうかしている。気持ちに余裕を持って考える方が人の意見を素直に受け入れることができる。柔軟な考えができるようになる。

さて、町田次郎君。彼は会社や仕事のことを聞かれると自分のことを「僕はフツウです」と云

次頁につづく

第21回九州かたまり会

とき／平成26年6月3日 ところ／ザ・クイーンズビルゴルフクラブ(福岡県糸島市)

梅雨のさなか、今年も昨年同様天候にめぐまれ、糸島市のザ・クイーンズビルゴルフクラブで第21回九州かたまり会懇親ゴルフコンペが22名の参加を得て開催されました。開催前日に九州北部地方が梅雨入りしました。が、参加者の皆様の日頃の行いが、(?)のせいかと、ところどころ強い風が吹く中、ホールアウトまでほとんど雨に降られずプレイすることができました。

今回のコンペでは、前半あわ(各賞)や50直前で踏みとまった濱崎(ドラゴン)輝実氏が後半大爆発。終わってみれば49・41のトータル90にきっちりまとめて優勝しました。また、ベストグロスは九州かたまり会幹事の入江俊介氏が2位の大野氏、3位の馬渡氏に4打差をつけて受賞しました。今回は10月開催の鹿児島例会時に22回目のコンペを開催します。是非多数の皆様のご参加をお待ちしております。

第21回九州かたまり会 成績表

順位	氏名	out	in	gross	HDCP	Net
優勝	濱崎 輝実	41	49	90	18.0	72.0
準優勝	大野 雅由	38	42	80	7.2	72.8
3位	馬渡 洋三	39	41	80	7.2	72.8
4位	茂森 潔	42	42	84	10.8	73.2
5位	今本 裕之	43	44	87	13.2	73.8
6位	藤島 亮介	42	41	83	8.4	74.6
7位	茂森 拓	41	42	83	8.4	74.6
8位	入江 俊介	38	38	76	1.2	74.8
9位	下瀬 裕一	50	44	94	19.2	74.8
10位	上田 泰博	42	43	85	8.4	76.6
11位	岸川 健太郎	46	47	93	15.6	77.4
12位	蓑下 弘光	45	41	86	8.4	77.6
13位	松山 隆文	55	50	105	26.4	78.6
14位	村尾 和則	48	45	93	14.4	78.6
15位	下瀬 博貴	46	44	90	10.8	79.2
16位	戸村 弘文	50	46	96	16.8	79.2
17位	武居 直人	53	45	98	18.0	80.0
18位	野中 博	51	52	103	22.8	80.2
19位	鏑流馬 清規	49	53	102	21.6	80.4
18位	星原 耕作	55	51	106	25.2	80.8
BB賞	中村 健一郎	55	50	105	24.0	81.0
敢闘賞	深水 孝浩	52	54	106	24.0	82.0



参加者集合写真



優勝者スピーチ(濱崎輝実氏)



主催者挨拶(中村副会長)

懇親会

プレコン管理士制度の立上げ！
人手不足解消に二次製品を！
不良債権の解消や
社員給与のアップを！



懇親会司会(森総務企画委員)



乾杯の発声(九州共立大・牧角教授)



懇親会挨拶(中村新副会長)



懇親会中締め挨拶(上田理事)



懇親会中締め



牧角教授の発声で乾杯

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会

第八回(平成26年度)通常総会プログラム

日時 平成26年6月2日(月)
15時30分～16時45分

場所 八仙閣(福岡市博多区)
議事次第

- 一 開会宣言(下瀬副会長)
- 二 会長挨拶(松崎会長)
- 三 来賓挨拶(国土交通省九州地方整備局・岩崎局長)
- 四 定足数の報告
- 五 正会員34社中31社出席
(表決委任社3社)
- 六 学界正会員9名中1名出席
賛助会員22社中18社出席
(表決委任社4社)
- 七 資料の確認
- 八 議長の選出
- 九 議事録作成者および署名人の指名
- 十 議案説明・岸川理事
監査報告・柏木監事
第一号議案 平成25年度事業報告



総会議案説明(岸川理事)



- 十一 閉会(茂森副会長)
- 十二 第二号議案 平成25年度収支決算・監査報告
- 十三 第三号議案 役員変更の件
- 十四 第四号議案 会費等徴収規程改訂の件
- 十五 第五号議案 平成26年度事業計画(案)
- 十六 第六号議案 平成26年度収支予算(案)
- 十七 第七号議案 総会決議事項の委任に関する件
- 十八 プレコン管理士試験最優秀者表彰
- 十九 第二十一回九州かたまり会開催案内
- 二十 閉会(茂森副会長)

■役員改選と新役員体制の紹介

新役員任期
(自)平成26年6月8日
(至)平成28年6月7日
の2年間

- 新役員**
- 会長(再任) 松崎 秀雄 (インフラテック(株))
 - 副会長(前理事) 中村 健一郎 (株)ヤマウ
 - 副会長(再任) 茂森 拓 (株)ヤマックス
 - 理事(前副会長) 下瀬 博貴 (株)九コン
 - 理事(再任) 上田 泰博 (小倉セメント製品工業(株))
 - 理事(再任) 入江 俊介 (不二コンクリート工業(株))
 - 理事(再任) 馬渡 洋三 (株)馬渡商会
 - 理事(再任) 岸川 健太郎 (不二高圧コンクリート(株))
 - 理事(新任) 池永 征司 (株)池永セメント工業所

- 理事会**
- 理事(再任) 村上 博信 (大建コンクリート(株))
 - 理事(再任) 酒井 久典 (九州中川ヒューム管工業(株))
 - 理事(再任) 尾堂 友紀 (鹿児島共和コンクリート工業(株))
 - 理事(再任) 津波古 義秀 (株)技建
 - 代表取締役社長 (株)柏木興産
 - 代表取締役社長 (株)武春
 - 代表取締役社長 (三和コンクリート工業(株))
 - 代表取締役社長 (株)保介

- 理事会及び各委員会報告**
- 日時 平成26年5月13日
 - 場所 八仙閣
 - 内容
 - ・総務企画委員会、市場調査委員会、技術委員会の開催が報告された
 - ・平成25年度プレコン管理士試験実施が報告された
 - ・コンクリート製品検定2014への協賛を審議した
 - ・平成25年度事業報告・収支決算(理事会上程案)を審議した
 - ・役員改選(案)を審議した
 - ・会費等徴収規程改訂を審議した
 - ・平成26年度事業計画・収支予算(理事会上程案)を審議した
 - ・第八回通常総会の開催概要を協議した

- 総務企画委員会**
- ①平成26年度第1回総務企画委員会
日時 平成26年4月7日
場所 ヤマックス 会議室
 - 内容
 - ・平成25年度事業報告及び収支決算の内容を精査した
 - ・平成26年度事業計画及び収支予算の委員会提起内容を協議した
 - ②平成26年度第2回総務企画委員会
日時 平成26年5月2日
場所 八仙閣
 - 内容
 - ・平成25年度事業報告及び収支決算の理事会上程内容を作成

国重要文化財「武雄温泉楼門」と「4千支」について

武雄温泉楼門は大正4年(1915)4月に落成した建物で、東京駅や日本銀行本店を手掛けた佐賀県唐津市出身の建築家・辰野金吾博士の設計によって建てられました。釘を1本も使わず建てられており、その形は天平式となっています。同時に建てられた「武雄温泉新館」と共に、平成17年国重要文化財に指定されています。

その楼門も約100年の風雨に耐え、数十年毎に塗り替えなどの修理がなされてきました。が、再び塗装が色あせてきたため、昨年新たに塗り替える工事が清水建設株式会社施工で行われ、その他にも雨漏りや、



修復を終えた「武雄温泉楼門」

白アリの傷んだ部分が見つかりましたので修理され、さらに耐震補強工事も併せて行われました。工事は平成25年1月に始まり、古い塗装の掻き落とし、袴腰(楼門1階部分の白壁)の漆喰を約100年ぶりに全て取り除き傷んだ木部の取替え・補修・3層での塗り直し、仕上げは表面を撥水処理等がなされました。また、耐震補強工事に伴い、屋根瓦を一旦全て降ろして瓦下地の土を取り除き軽量化を図りました。瓦工事は地元の一馬渡商会にて全部一枚一枚洗って元通りに修復し、重厚な鯨瓦と輝きのある屋根の姿がよみがえりました。塗装色についても工事中に行われた調査で、塗り替えられていなかった当初の部材が発見されたことにより、創建当時の色(朱色)にて復元されています。



各方面の四隅にある天井彫刻(子、卯、午、酉)を合わせて十二支がちょうど揃うことが判明し、全国的な話題となりました。



武雄温泉楼門の彫刻 卯(東)

武雄温泉楼門の彫刻 午(南)

武雄温泉楼門の彫刻 子(西)

武雄温泉楼門の彫刻 酉(北)

- <P19 KCクイズの解答>
- A1 SRC(steel reinforced concrete)
 - A2 熱伝導率
 - A3 鉄筋コンクリート
 - A4 ヨーロッパの植木職人がセメント植木鉢を作る際、針金で補強した植木鉢
 - A5 曲げ引張り破壊と曲げ圧縮破壊、せん断破壊、付着割裂破壊、疲労破壊など
 - A6 打ち放しコンクリート
 - A7 アルカリ骨材反応

A8 出来る。欧米では1800年代から製造され、日本でも実際に太平洋戦争末期・戦後に武智丸という貨物船が建造され使用された。現在は防波堤として設置されている。

A9 コンクリートの配合を均一に保つため。移動時振動が加わると重たい骨材と軽い水に上下へ分離してしまうのを防ぐために常に攪拌している。

A10 コンクリートの方が白くトンネル内の明度を確保しやすい、また強度が高いため補修のスペンが長くなるため。トンネル内火災が発生した場合は、アスファルトと一緒に燃え、有毒ガスを発生させるが、コンクリートは燃えないため安全面でも採用されている。



「薩摩藩英国留学生記念館」オープン

開館には国内外の子孫らが 50名集結

本紙V o 1 19及び20号でご紹介しましたように、2018(平成30年)に明治維新150周年を迎えます。前回は今年6月に開設150周年となった「薩摩開成所」についてお伝えしましたが、今回はそこで学んだ若者19名が薩摩派遣留学生として旅立った地・鹿児島県いちき串木野市羽島に今年7月20日オープンした「薩摩藩英国留学生記念館」について紹介します。

建物は南九州で焼かれた火山灰煉瓦の瀟洒な赤煉瓦づくりの2階建て洋館です。



7月21日付の南日本新聞の記事によると「19人の留学生らが近代日本の礎を築くために羽島から旅立って149年。式典には国内外から留学生の子孫や親せき約50人が出席し、先祖に思



いはさせた。地元の子どもたちも夢を語り、留学生たちのパイオニア精神が引き継がれていることを証明した。記念館は、鎖国時代の幕末1865年に羽島から英国に密航し、西洋文明を学んだ19人の関連資料を展示する。式典には後に「カリフォルニ

のブドウ王と呼ばれるようになった長澤鼎の姉の孫にあたるエミー・モリさんは米国から親族10人で駆けつけた」と華やかなオープンを紹介しています。

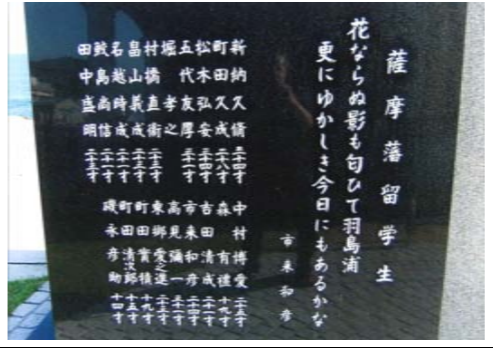
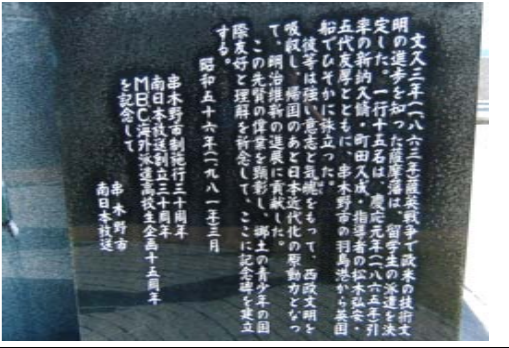
薩摩藩英国留学生とは...
薩摩藩が選抜した留学生たちは、世間の目を欺くために変名を使います。彼らは「近隣の甌島や大島へ視察に赴くように」との虚偽の辞令書を受け取り、鹿児島城下を後にします。そしてトーマス・グラバーが手配した機帆船が到着するまでの約2カ月間を羽島浦現在のいちき串木野市で過ごしました。



留学生たちは2軒の家に下宿し、祖国を旅立つ決意の時を迎えます。元治2年3月22日(1865年4月17日)、沖に姿を見せた洋式機帆船オースタライエン号に乗り込んだ総勢19名の薩摩藩士たちは密航というかたちで英国へ旅立ちました。

本館では、彼らの旅路や活躍、そして生きざまを物語る貴重な資料を公開し、未来を築くための心の糧となる活動を目指します。皆様のお越しをお待ち致します。

(いちき串木野市の同記念館リーフレットより)
広報委員(鹿児島県 尾堂 友紀)



平成25年度プレコン管理士試験実施報告

平成26年3月28日(金)、グランメッセ熊本(熊本県益城町)にて平成25年度プレコン管理士試験が実施されました。この個人資格認定試験は、当協会が任意団体として設立以来創設を目指してきた『プレコン管理士制度』の初めての試験で、受験資格要件は「平成24・25年度のいずれかの講習会を受講した者」とし、対象となる約180名のうち85名が受験しました。

協会として初めての試験実施であり、問題の作成から当日の運営に至るまで、技術委員会での協議を重ねたうえでの対応となりました。また、受験者側も試験の傾向等についての前例がないため、勉強の仕方にも苦労されたかと思えます。今年度も9月2日の講習会(終了)及び平成27年3月頃(予定)の試験というスケジュールで制度運営を実施してまいりますので、多数の皆様への受講・受験をお待ちしております。

平成25年度プレコン管理士試験合格発表
※平成25年度プレコン管理士試験の合格者は以下の通りです。(氏名のみ掲載：50音順)

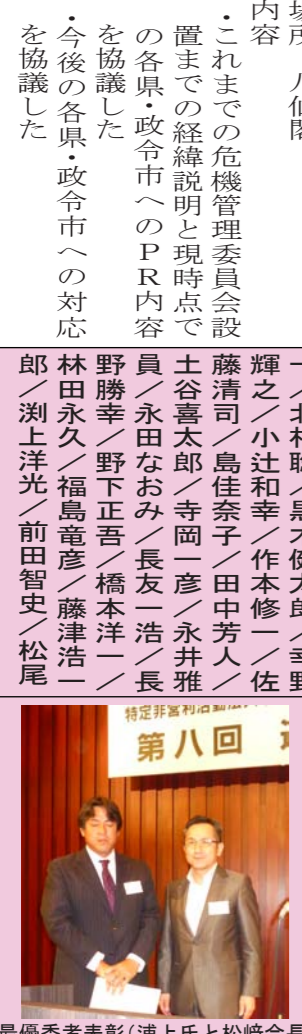
青柳充慶／生森勝久／石井卓／石崎敦郎／今門勝明／浦上公貴／江崎忠臣／押方哲也／神野亮一／北村聡／黒木健太郎／幸野輝之／小辻和幸／作本修一／佐藤清司／島佳奈子／田中芳人／土谷喜太郎／寺岡一彦／永井雅員／永田なおみ／長友一浩／長野勝幸／野下正吾／橋本洋一／林田永久／福島竜彦／藤津浩一／瀧上洋光／前田智史／松尾

大輔／松本冬樹／松本康資／室克典／山崎浩一 以上35名
不二高庄コンクリート(株) 品質保証課係長 公貴氏

【受賞時のコメント(要約)】
社会に認知されているコンクリート技士や主任技士などの資格はコンクリートに特化した資格であり、コンクリート製品全般をカバーするこのプレコン管理士制度の創設は、コンクリート製品業界にとって大変意義のあることだと思ふ。

業務上、受験することが必要だったが、試験内容が難しく、発表まで合格しているのか不安な心境だったのでトップの成績だったことは驚いている。

今後も社会及びこの業界の一員として、コンクリート製品を通して社会貢献ができるよう邁進していく。



最優秀者表彰(浦上氏と松崎会長)

前頁より

した
平成26年度事業計画及び収支予算の理事会上程内容を作成した
・第八回通常総会の開催運営を協議した
日時 平成26年6月2日
場所 八仙閣
内容
・第八回通常総会運営の直前確認をした

広報委員会

①平成25年度第4回広報委員会
日時 平成26年3月7日
場所 八仙閣
内容
・協会広報誌「Compas」第20号の編集会議を実施した
②平成26年度第1回広報委員会
日時 平成26年6月2日
場所 八仙閣
内容
・協会広報誌「Compas」第21号の役割分担会議を実施した

③平成26年度第2回広報委員会
日時 平成26年8月20日
場所 八仙閣
内容
・協会広報誌「Compas」第21号の編集会議を実施した
・広報委員の欠員補充を理事会に上程することとした

市場調査委員会

①平成25年度第3回市場調査委員会
日時 平成26年3月14日
場所 八仙閣
内容
・平成25年度の市場調査レポート作成内容を協議した
・平成26年度の活動計画を協議した
②平成26年度第1回市場調査委員会
日時 平成26年4月18日
場所 博多グリーンホテル
内容
・平成26年度の市場調査方法とスケジュールを協議した

③平成26年度第2回市場調査委員会
日時 平成26年8月4日
場所 八仙閣
内容
・市場調査回収データの精査・分析を実施した
・市場調査報告書の構成を協議した

技術委員会

①平成25年度第8回技術委員会
日時 平成26年1月17日
場所 博多グリーンホテル
内容
・プレコン管理士試験実施内容を協議した
・プレコン管理士制度の中長期展望を協議した
・今後の取組み課題を協議した

②平成25年度第9回技術委員会
日時 平成26年2月21日
場所 八仙閣
内容
・プレコン管理士試験実施及び内容を協議した

③平成26年度第1回技術委員会
日時 平成26年4月11日
場所 八仙閣
内容
・プレコン管理士制度の運営を協議した

④平成26年度第2回技術委員会
日時 平成26年5月20日
場所 八仙閣
内容
・プレコン管理士制度の運営を協議した

⑤平成26年度第3回技術委員会
日時 平成26年6月23日
場所 インフラテック会議室
内容
・プレコン管理士制度の運営を協議した

⑥平成26年度第4回技術委員会
日時 平成26年7月30日
場所 ヤマックス 会議室
内容
・プレコン管理士制度の運営を協議した
・平成26年度KYUPEC会議の報告内容を協議した

⑦平成25年度第1回市場調査委員会
日時 平成25年12月12日
場所 八仙閣
内容
・これまでの危機管理委員会設置までの経緯説明と現時点での各県・政令市へのPR内容を協議した
・今後の各県・政令市への対応を協議した

危機管理委員会

①平成25年度第1回市場調査委員会
日時 平成25年12月12日
場所 八仙閣
内容
・これまでの危機管理委員会設置までの経緯説明と現時点での各県・政令市へのPR内容を協議した
・今後の各県・政令市への対応を協議した

■技術委員会 活動報告(要約)

技術委員会では、平成25年度に以下の活動に取り組みました。

- プレコン管理士制度運営について
- 技術講習会の開催
- 対外技術情報の収集
- 検査基準(案)の検討

ここでは、主なテーマとして「プレコン管理士制度運営」について説明します。



技術委員会活動報告(河野技術委員長)



プレコン管理士制度運営

これまでの運営スケジュール

平成24年度	平成25年度	平成25年度
H24. 5. 30 プレコン管理士講習会 76名が受講	H25. 8. 22 プレコン管理士講習会 106名が受講 (うち6名が前年度も受講)	H26. 3. 28 プレコン管理士試験 176名が受験資格保有 85名が受験

プレコン管理士試験実施

- 1) 選考基準

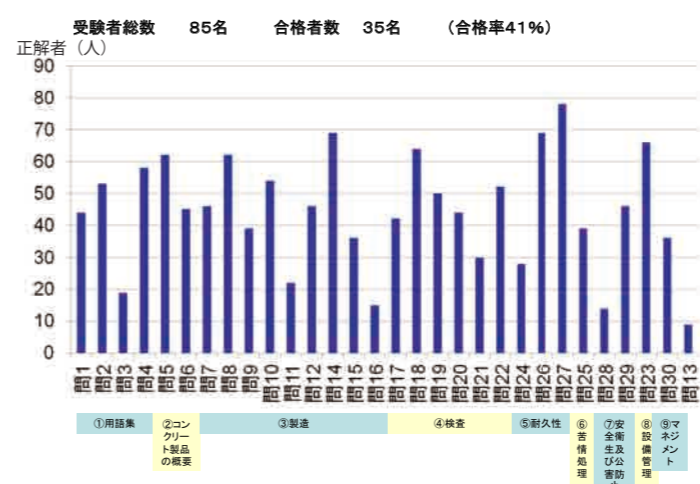
プレコン管理士に必要とされる主な知識は次の通り

 - ①コンクリートに関する用語
 - ②コンクリート製品の特徴・種類
 - ③コンクリート製品の製造(使用材料、配合設計、型枠、締固め、養生、鉄筋加工)
 - ④コンクリート製品の検査(品質管理業務、受入検査、中間検査、最終検査)
 - ⑤コンクリートの耐久性(ひび割れ要因、劣化要因、評価)
 - ⑥コンクリート製品の苦情処理(クレーム発生要因、補修方法)
 - ⑦安全衛生および公害管理(システム、法令、教育、点検、公害の種類、公害防止)
 - ⑧設備管理(製造設備、試験・検査設備、特殊設備、各設備管理)
 - ⑨マネジメント(原価計算、損益分岐点、製造原価低減)
 - ⑩その他(テキストに未記載であるが管理者として必要とされる基礎知識)
- 2) 選考方法

プレコン管理士試験(2時間30分)

 - ①四肢択一問題
 - ②記述問題(経験記述)

プレコン管理士試験結果

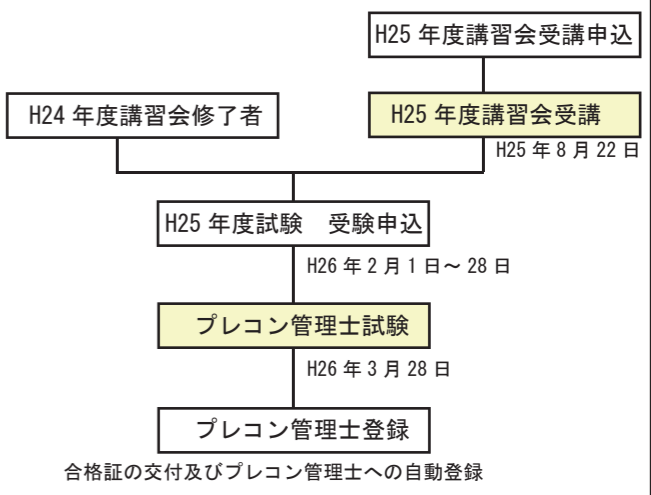


〈出題数の傾向〉
「③製造」に関する出題が最も多く、「⑥苦情処理」「⑧設備管理」に関する出題が少なかった。また、一般常識を問う「該当なし」のものも1問出題された。

〈正解率の傾向〉
「②コンクリート製品の概要」「⑤耐久性」「⑧設備管理」は平均して50名以上が正解であったが、「⑥苦情処理」「⑦安全衛生及び公害防止」「⑨マネジメント」は正解率が低かった。

プレコン管理士登録フロー

プレコン管理士試験に合格すると、自動的に「プレコン管理士」として登録されます。登録者には、合格通知書発送時にプレコン管理士登録証が発行されます。登録証の有効期限は、発行より3年です。



雲とコンクリート屋

株式会社池永セメント工業所 代表取締役社長 池永征司

事務局から会報誌に寄稿して欲しいという打診を受け、何を書こうか随分悩みました。過去の記事も拝見させていただきましたが、力作揃いですねえ。

私、池永セメント工業所に入社する前は、S o n e t (ソネットエンタテインメント)というSONY系のインターネットプロバイダで働いておりました。その関係もあり多少コンピュータ関連のことに興味を持っており、当社はマイクロソフトのパートナー企業でもあります。

コンピュータを扱っていると一番の悩みはデータの保全ですが皆様どのようにされていますか? 最近流行っているのはいわゆる「クラウド」サービスというものの活用です。有名どころではDropbox、SugarSync、iCloudなどでしょうか。私は料金の安さ、安定性、スピード、汎用性からDropboxをこよなく愛用しているのですが、これが大変便利です。

この記事はお昼休みにハンバーガーショップで書いていますが、あと少ししたら会社に戻らなければなりません。となると、一度保存してから後で再度原稿を書くわけですね。この保存先をDropboxのフォルダ(インストールすると自動的にできます)に保存します。今はインターネット回線につながっていませんので、私のPC上だけにデータが保存されている状態です。このPCを会社に持ち帰りいつも通り電源を入れネットワークにつながると先程保存したファイルが自動的にDropboxサーバー(クラウド上)に保存されます。サーバーにアップされた瞬間に、自宅の起動しっぱなしのPCのDropboxフォルダに自動的にダウンロードされます。

また、ふと気がついたときに「どんなこと書いてたっけ?」と思えば、iPhoneのDropboxアプリを開いて簡単にそのファイルを開く事ができます。うまく伝わっているかどうか分かりませんが、どの機械から同じようにみる事ができ、ほぼ同時に同期されるといふのはものすごく便利です。個人の利用だけでは何となくピンとこないかもしれませんが、こ

れが複数の人間の共同作業の場所になると大変便利です。昨年、ライオンズクラブの役員をしたのですが、データの共有は全体的にDropboxを使いました。役員3名と事務局1名で使いましたが、必要なデータは全てDropboxにあるので「あのデータ、どこだっけ?」とか「今度の例会資料送って」というのは全くありませんでした。また、データがアップロードされるとその旨のメッセージが出ますので、あの資料が出来たんだなというのもストレス無くわかりました。

日本人はビジネスではクラウドをなかなか使わない、というのは私にも当てはまり、何かあったらめんどくさいな、とまだ社内での共通システムとしては使っていません。個人ではすごく便利で殆ど全てのデータをDropboxにて管理しているんですが...

個人で使っているツールを会社で使うのはなんとなく勇気がいりますが、カテゴリーの共有、面の共有に威力を発揮するので、はないかと感じていますので、今年は勇気を出してDropboxを社内での共通ツールとして整備してみようかと考えています。



日本食は世界一

「ミシュランガイド 福岡・佐賀2014年版」が発行されました。ミシュランガイドはご存知のように世界中の美味しいレストランを紹介するガイド本です。このガイドの中で、特に注目に値する質の高い料理を提供するお店を、星付きレストランとして紹介しています。星は1つ星から3つ星まで。

3つ星は、そのために旅行する価値があるほどの卓越した料理。その基準は、素材の質、調理技術の高さ、味付けの完成度、独創性、コストパフォーマンス、常に安定した料理全体の一貫性とのこと。(なんだかコンクリートの品質基準と似ているような気がします)

日本食は、無形世界遺産に選ばれた世界一のすぐれた料理です。新鮮な素材、ダシをベースにした身体に優しい味付け、美しい器と盛り付け、(女将のサービ

ちょっとむずかしい! ? ・ ・ KCクイズ

- <問題>
- Q1 鉄骨鉄筋コンクリート構造の略号は「RC?」「SRC?」「S?」「ALC?」
- Q2 オートクレープ養生した軽量気泡コンクリートパネルはコンクリート内部に無数の気泡を有することから断熱性に優れ、()は普通コンクリートの約1/10である。()の中はどれか?
電気伝導率、熱伝導率、熱膨張率、透水性
- Q3 通常、プレレストコンクリートをPC、()をRCと呼ぶ。ただし、建築分野で特に区別する場合にはプレキャストコンクリートのことをPcaと表記されることもある。()の中はどれか?
合板、コンクリートブロック、鉄筋コンクリート、釘
- Q4 鉄筋コンクリートの最初と言われる物は?
- Q5 鉄筋コンクリートは引っ張りに弱いコンクリートを補強するため鉄筋を配したコンクリートであるが、鉄筋コンクリートの破壊メカニズムにはどんなものがあるか?
- Q6 基本的に現場打ちコンクリートの上に、塗装・タイル・石張りなどの仕上げ工程を省き型枠を外した直後のむき出しのままの状態のコンクリートをもって仕上げとする手法は?
- Q7 コンクリート中のナトリウム・カリウムなどのアルカリ金属イオンが、骨材中の特別な鉱物と反応。異常膨張を起こし、ひび割れを生じさせる現象は?
- Q8 コンクリート製の舟は水に浮くことができるか?
- Q9 コンクリートミキサー車(運搬車)が常にタンクを回している理由は?
- Q10 トンネル内の道路はコンクリート製が多い。その理由は?



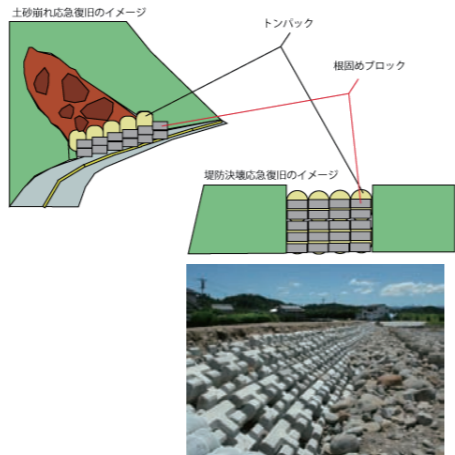
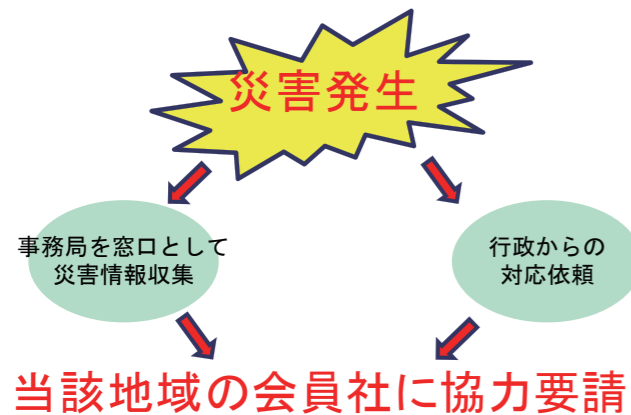
広報委員(福岡) 安永 大志

危機管理委員会活動報告（要旨）

会長所管の常設委員会として活動している危機管理委員会は、これまでの関係各署とのヒアリング等を経て今後の「防災・減災」に向けた活動を模索しております。これまでに報告してきた委員会の設置及び現時点での課題を抽出し「協会として何ができるのか？」ということについて詳細を検討しております。

危機管理委員会の対応について

災害発生時の対応



危機管理委員会活動報告 (岸川理事)

当協会が提供できる内容

- ★災害状況を判断可能な**有識者の現地派遣**
- ★被災地近隣での**土地、資機材、事務所等の提供**（最前線の対策本部設置や資機材置場等として）
- ★**緊急復旧に使用するコンクリート製品の提供**

※基本的には後方支援としての活動が予想されるが、そのためにも「協会に（最低限）何ができるか？」ということを確認する覚悟が必要となる

会員社へのアンケート実施

★九州各県及び政令市に対するPR実施に先立って、会員各社が「行政との連携の実績があるか？」「どのような対応が可能か？」を調査するためのアンケートを実施。
（正会員34社のうち25社回答：66%）

建設業許可を取得し**建設業の各種団体に加入している**ため、応急復旧に必要な人員・資機材を提供している

土木や測量関連の団体に加入しているため、土嚢袋の作成や、応急復旧に必要な資機材を提供している

事業所がある高台にあり、その地区が**行政と津波発生時の高台避難の連携を取っている**関係で、土地を避難時の駐車場に提供することとしている

いずれも**コンクリート製品メーカーとしての対応ではない！！**

今後の対応

- ★九州各県の**災害対応窓口との連携**を実現するためのPR活動を実施。
- ★**地域実情に則した行政等との連携**を模索。
- ★各社が常に災害発生に備えた意識を持ち、**有事の際に則応できる**よう準備体制を構築する。



弊社の取り組み

長谷川トラフ株式会社 代表取締役 長谷川 三喜

昨年5月、不二高压コンクリート株式会社 岸川社長のご紹介で九州コンクリート製品協会に入会させて頂き、以降皆様のあたためたいご指導のもと、微力ながら会の発展に寄与出来たと考えております。今回寄稿の機会を戴きましたので、簡単に弊社の紹介をさせて頂きま

弊社は平成12年、祖父の長谷川為之が当時の鉄道省を退職後、今の福岡県行橋市に長谷川電柱コンクリート工業所を創業しました。九州に鉄道を建設するという国家的インフラ整備の始まりでもありました。戦前戦後の激動の時代を経て、昭和46年、長谷川トラフ株式会社に社名変更し、父の善成が社長に就任しました。

平成9年に、JR行橋駅の整備事業に伴い、現在地の行橋市稲童に会社を移転しました。平成10年に私三喜が父から会社を託され、創業以来、大正・昭和・平成の三時代に渡り、鉄道省・国鉄・JRへと移行する中、鉄道製品一筋で参りました。平成12年に、九州新幹線（鹿児島ルート）用の製品を受注し、最近では

北陸・北海道新幹線用の製品も納入させて頂いております。私は社長就任時より、弊社の取組みとして、平成14年、高流動コンクリートの製造に合わせ、製造ラインのオートメーション化・作業ロボットの導入など職場環境の改善と効率化を図って参りました。また、環境保護を考へ、平成16年、廃水処理リサイクル設備を設置。平成21年、スチール・ムアキムレータの導入。これによりCO2排出量の削減、燃料消費量の削減を行いました。平成22年、コンクリート混和材料にリサイクル材を使用し、弊社で製造するコンクリート製品は、日本環境協会認定のエコマークを取得しました。

現在は、太陽光発電に力を注いでいます。平成24年に宮崎県JR都城駅の機関区跡地に2メガの太陽光発電所の建設を始め、今までに計10メガに相当するソーラーキーパーの販売実績を得ることが出来ました。平成25年に、弊社工場の屋根を利用した300kwの発電。平成26年は、行橋市で100kw・築上郡で200kwの発電。今年秋の発電開始に向け、弊社の隣接

パレタイジングシステム



地に300kwの発電所を建設しています。これからも太陽光発電、CO2削減、また環境保護に適した製品の製造など社員一人となり、弊社で出来ることに取り組んで行きたいと思っております。今後とも皆様方のお力添えを戴きます様、宜しくお願い申し上げます。

型枠認識塗布ロボット



当社では、剥離剤の塗布をコンピュータ制御の専用ロボットが行っています。ブース内で必要箇所に必要量の塗布が施され、外部への飛散を防ぎ、剥離剤の再利用を可能にしています。



各種製品を識別し、製品別のパレットにプログラムされた荷姿に合わせて確実に積載します。大型製品（重量物）にも対応し、作業者の負荷を低減しています。

ハンドリングロボット

長谷川トラフ 越路太陽光発電所 (200kw)



長谷川トラフ 稲童太陽光発電所 (300kw)



長谷川トラフ 下検地太陽光発電所 (100kw)



長谷川トラフ 太陽光発電所 (300kw)

活躍中のロボット

太陽光発電所

PR 賛助会員紹介コーナー



確かな技術でトータルソリューションを提供します ハイブリッド コンクリート充填機 ロデオ

ロデオ



稼働中のハイブリッド充填機 ロデオ

- 材料分離が少なく気泡の少ない美肌の製品ができる
- 騒音の低減で場内・近隣の作業環境の改善ができる
- 普通コンクリートから高流動コンクリートまで充填できる
- 生コンコストの低減がはかれる

温度管理システム オンカン

原油が又高騰の兆し、対策はお済みですか？燃費は 40%以上節約！！



シート養生にバツグンの効果



- ローコストな制御盤本体 (on/off 制御)
温度勾配パターンは、32 ステップ・8 パターン登録可能
- 100V コンセントがあればどこでも使用可能
- 理想的な温度制御で品質向上 (角欠け減少)
- オンカン独自の温度勾配で重油代節約

展望



会長 松崎 秀雄

公共工事の変化への対応

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会

会長 松崎 秀雄

初秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。今年度の夏は、例年より早い時期に大きな台風が本土に上陸し、四国・近畿等に大きな被害をもたらしました。また、かなり暑い日々ではありましたが、全国的に大気が不安定な状態が続き、雨の日が多く、広島では大きな災害もありました。

最近の災害は、人智を超えたレベルで発生しているようです。3年前の東北大地震も、何百年前から脈々と受け継がれてきた「経験からの知恵」の一部はあつたものの、あれ程の災害は想定外であつたといわざるを得ません。そう考えますと、今後わが国では、今までの常識を超えた「大きな災害」が発生する可能性が十分にあるのではないかと危惧しております。

これら想定外の大きな災害への対応については、いままでのような我々独自の業界だけの知

恵・ノウハウ・経験だけでは、とても対応がでなくなるとはならないかと心配しております。今後、我々が世の中に必要とされ続け生き残っていくには、今以上に異業種とのコラボ・協力を活性化させ、災害に対する防災・減災のため、今何を「何ができるか」そのうえで、「社会にどのように貢献できるか」を考えることが必要だと考えます。

平成25年度の我々の業界は、アベノミクスの積極的な財政政策により、総じて好決算企業が多く、特に上場企業はほとんどが増収増益で久しぶりに活況を呈した明るい1年ではなかったかと思えます。

しかし、良いときは長くは続かないと言われる通り、今年度の国交省の公共事業当初予算が昨年度比0.3%増加したにも関わらず、コンクリート二次製品の今年4月以降の出荷量は、昨年とうって変わって、かなりの低レベルで推移しています。理由として、資材・労務費の高騰、技能者の枯渇等による採算性の問題から入札不調が続き

そのため二次製品の需要が落ち込んでいます。様々な見解がありますが、そのうち積算価格が上昇することで二次製品の出荷も上向き、政府が積極的に進めている公共投資効果が本格的に出ているものと期待されているようです。

しかし、あまり楽観的に考えるのはいけないように思います。なぜ、そのように思うのか懸念材料は2つです。

ひとつは、冒頭で申し上げましたように、「公共工事のマーケット」が、我々の業界に望むレベルの変化です。今後、世の中が、我々業界に望むレベルは非常に高く、それと考えると、その要求にどれだけ対応できるかが大きなポイントになるといえます。これは、当然ながら、一朝一夕にできるものではありません。

もうひとつは、「公共工事の内容の変化」です。ご承知のとおり、今後の社会資本整備は、維持管理の時代を迎えております。

明らかに、公共工事は橋梁・トンネル・道路の維持補修・メンテナンスや学校・役所等の公共施設の耐震補修工事へと向かっています。我々の業界も、そのことを踏まえた将来の戦略が必要なのではないでしょうか？

我々、九州コンクリート製品協会は、今後の公共工事の「二つの変化」に十分耐えられるよう、「産学官との協調」と「ノウハウをもつ専門の維持メンテナンス」の情報収集と提供を積極的に行うことで、業界および会員様の末長い発展に寄与していきたいと考えております。皆様方におかれましては、この趣旨をご理解いただき、当協会に對するご支援・ご協力を賜りま



平成26年度第一回技術講習会

平成26年6月24日(火)、鹿児島大学工学部稲盛会館(鹿児島市)にて、平成26年度第1回技術講習会が開催されました。例年通り、当協会の主催で(株)鹿児島TLOの協力を得て、7月27日に実施された「コンクリート診断士」の受験直前講習として、問題集を作成した講師を招いての講習会となりました。

日時 平成26年6月24日(火)
13時 ~ 18時

場所 鹿児島大学工学部
稲盛会館(鹿児島市)

- 第一次講習 四枝択一問題への基礎固め (講師:内藤英晴)
- 第二次講習 記述式問題(一般への取組み) (講師:福手勤)
- 第三次講習 記述式問題(専門)への取組み (講師:佐野清史)

参加者 協会会員社より10名を含めた約50名

なお、これまで当協会で「コンクリート技術」の受験直前講習を毎年開催してまいりましたが、会員社からのニーズを解消したことから、コンクリート技術に

特化した講習会の一定の役割を果たしたと技術委員会では判断し、今年度はコンクリート診断士の講習会とプレコン管理士講習会の2本立てでの会員社技術者の技術力向上にとめていくこととなりました。今後は、コンクリート技術を取得した技術者が次のステップであるコンクリート診断士の資格取得の一助となるよう、この講習会を継続してまいりますので、これから多数の受講をお待ちしております。

第1回技術講習会の講師紹介
「コンクリート診断士試験」合格のポイント2014 著者
福手 勤
東洋大学理工学部教授(工学博士)技術士(建築部門)、土木学会フェロー(上級技術者)

内藤 英晴
五洋建設(株)技術研究所専門部長(博士(工学)、技術士(総合技術監理部門)(建設部門)、土木学会フェロー(上級技術者))

佐野 清史
東洋建設(株)土木事業本部土木技術部長(博士(工学)、技術士(総合技術監理部門)(建設部門)、土木学会フェロー(上級技術者))

インフラ維持管理時代に適応した製品づくり

長崎大学大学院工学研究科
教授 原田 哲夫 (KyUPeC学界正会員)



デフレ経済で国家財政が逼迫する中、医療や福祉関連の予算は拡大する一方で、公共事業に対する社会の偏見も重なり、公共事業費の大幅な削減が余儀なくされ、とりわけインフラの維持管理予算は後回しにされてきた。そのような状況の中、中央道笹子トンネルの天井板崩落事故が発生したことは記憶に新しい。事故の報道によって、多くの国民が初めて、インフラの維持管理の重要性を身近なこととして認識するようになったものと思われる。維持管理の重要性を国民が認知するには、あまりにも犠牲が大きかったと言わざるを得ないが、国は、関係機関及び地方公共団体に対し、インフラの維持管理に関する本格的な取り組みを促すこととなった。

我が国のインフラを構成する構造物は、多種多様であり、コンクリート構造物に限ってもその数は膨大で、補修・補強対象となる構造物は、時間の経過とともに確実に増え続けている。限られた予算で公共構造物を効率良く維持管理していくには、構造物の重要度に応じて優先順位を決め、それぞれの構造物に適した長期的な補修計画を策定する必要がある。

さて、上記のような状況の中、九州コンクリート製品協会ではどのような意識をもって、日々の業務にあたっておられるのだろうか。あるいは今後、どのような取り組みをされる予定なのか、KyUPeCに所属する一員として、高い関心をもっている。

例えば、維持管理の前提となる「耐久性」に関して、まずは、発注者側がどのような意識をもって発注されているかの実態について、コンクリート製品業界の設計営業担当の複数名の方に尋ねたところ、おおむね次のような回答が返ってきた。「以前に比べると、行政機関をはじめとする発注者側には、維持管理を含めた耐久性についての意識が浸透してきている。しかし、実際の発注となると、機能的な付加価値は考慮されるが、耐久性については二の次となることが多いようである。基本的に発注者側の考え方は、『問題のない製

品を適正な価格で採用する』というスタンスに留まっているようだ。もちろん、通常と異なる環境等、使用条件に必要性があれば、耐久性は考慮される。」

一般に、コンクリート製品はJIS規格のものが多く、上記の「問題のない製品」とは、発注者、製造者側の双方とも「所定の強度を満足しさえすれば問題ない」との考えのように思われる。しかしながら、「強度の保証＝耐久性の保証」は、必ずしも正しいわけではない。平成22年度から長崎大学では、佐々木助教が「初期高温履歴を与えたコンクリートの耐久性に関する研究」を行ってきており、「各種結合材を用いた蒸気養生コンクリートの力学的特性および水分移動特性」と題したKyUPeC講習会の実績もある。研究成果の詳細は、公表論文等を参照いただくとして、蒸気養生の方法やその後の養生方法を含めた水分の供給状態が、コンクリートの性能に様々な影響を及ぼすことがわかってきた。人は水分がなければ生きていけないように、コンクリートも水分の状態によって、性能が大きく作用されるという当たり前のことに気付かされた。上記の例からわかるように、「良いコンクリートはどうあるべきか」を常に問いかけ、コンクリート工学の基本、原点に立ち返ってみることの重要性を改めて認識した次第である。

「問題のない製品を製造できているから現状のままでよい」のではなく、製造者側は常に、「より良い製品づくりをするにはどうすればよいのか」を意識し、改善の努力を惜しまないでいただきたい。このことは、現場技術者にまかせておけば済む話ではなく、経営者自らがしっかりと認識し、実行すべき事項と考える。「より良い製品」は、「自分たちの技術の結晶」であって、決して安くはないはずである。「より良い製品づくり」のシステムがあれば、「適正な価格」は自然に生まれてくるものと信じている。



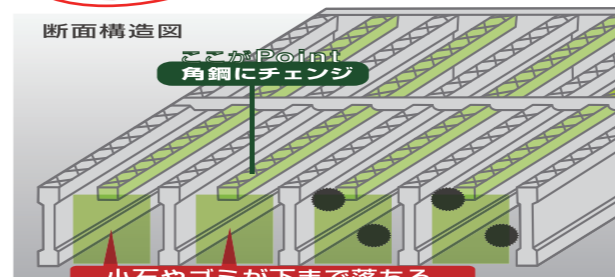
賛助会員紹介コーナー



株式会社 **ダイクレ**
<http://www.daikure.co.jp/>

本社・呉工場	〒737-8513 広島県呉市築地町 1-24	0823-21-1331
東京支店	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-18-10	03-5628-1071
大阪支店	〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-20-9	06-6371-5836
中国支店	〒737-8513 広島県呉市築地町 1-24	0823-21-7601
九州支店	〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町 5-18	092-262-8765
鹿児島営業所	〒892-0838 鹿児島県鹿児島市新屋敷町 16-21	099-224-5571

新商品 エコ細目グレーチング



小石やゴミが下まで落ちる
広いスペースを確保します。

ベアリングバーを
角鋼にチェンジ!

ザラザラ 加工で
スベリ止め効果UP!

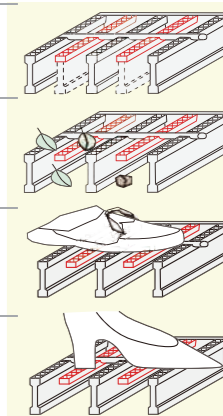


角鋼にもスベリ止めのザラザラ加工を施しました。
広いスペースが目詰まり性能を大幅にアップしました。

「細目グレーチングの歩行性の良さ」と
「並目グレーチングの軽さ」、両方を実現!

特長

- **軽量です**
従来の細目タイプと比較して重量が軽減されました。
- **衛生的です**
ベアリングバー間の広い空間は小石やゴミによる目詰まりを減少させ、衛生的です。
- **すべりにくい**
「ベアリングバー」+「ザラザラ加工を施した角鋼」で滑り止め効果が、さらにアップしました。
- **はまりにくい**
細目グレーチング同等の歩行性を実現しました。
- **越流減少**
水の越流量が減少しました。



新商品 極細目グレーチング



隙間
わずか
5mm

安全 快適 **極細目** グレーチング 実寸サイズ

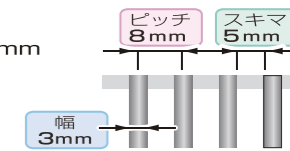
従来の細目タイプより隙間を小さく改良し、
より安全で快適な歩行感が得られます。

特長

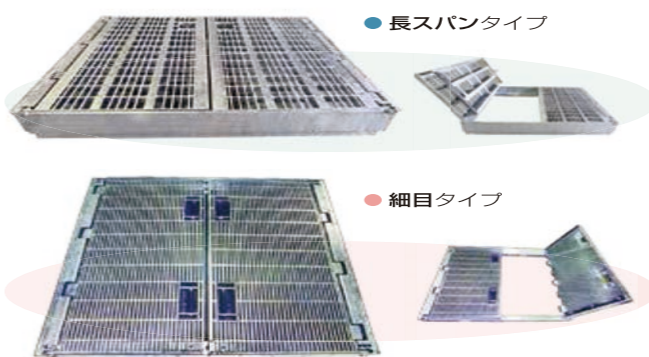
- ベアリングバーとの隙間がわずか5mmです。
- **バリアフリー**に最適な構造です。
- 従来品に近い**開口率**を維持しています。

断面構造

- ベアリングバーの厚み(幅)3mm
ピッチを8mmにしました。



新商品 らくらくグレーチング



● 長スパンタイプ

● 細目タイプ

道具を使わず簡単に開閉し、
メンテナンスを容易にします。

特長

らくらく開閉、らくらくメンテナンス

型式・仕様

片開きと両開きのタイプをご用意しています。グレーチングの表面部分は滑り止め加工(ザラザラ・イボイボ)が施してあり、**安全で快適な歩行感**が得られます。開閉時の衝撃を吸収するゴム付きです。

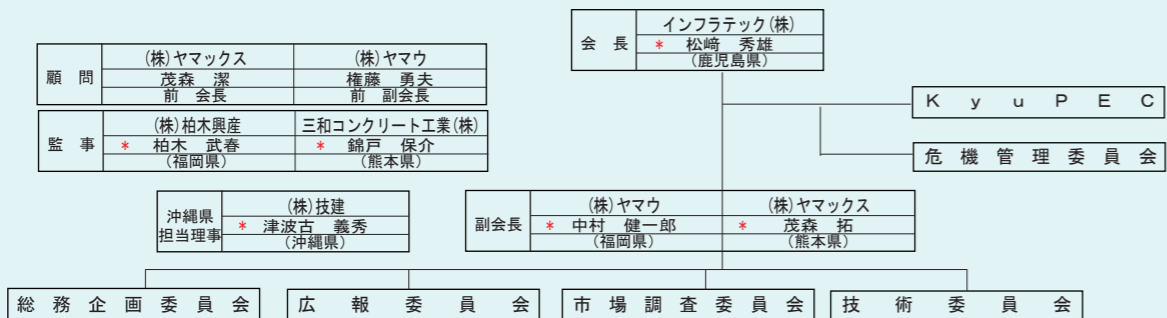
ココがポイント!!
グレーチング本体に設置されているトーションパネが、より**シンプルな構造**と**スムーズな開閉**を実現しました。

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会

平成 26 年 9 月 1 日 現在

* は協会理事・監事

組 織 図



【理事会及び各委員会名簿】

理 事 会	総務企画委員会	広 報 委 員 会	K y u P E C 委 員	危 機 管 理 委 員 会
会 長 インフラテック(株) * 松崎 秀雄 (鹿児島県) 副 会 長 (株)ヤマウ * 中村 健一郎 (福岡県) 副 会 長 (株)ヤマックス * 茂森 拓 (熊本県) 理 事 (株)九コン * 下瀬 博貴 (福岡県) " 小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県) " 不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県) " (株)馬渡商会 * 馬渡 洋三 (佐賀県) " 不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県) " (株)池永セメント工業所 * 池永 征司 (大分県) " 大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県) " 九州中川ヒューム管工業(株) * 酒井 久典 (宮崎県) " 鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県) " (株)技建 * 津波古 義秀 (沖縄県)	委 員 長 不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県) 副 委 員 長 不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県) 委 員 中里産業(株) 中里 大作 (福岡県) " 大野コンクリート(株) 大野 雅由 (福岡県) " 共和コンクリート工業(株) 森 英樹 (福岡県) " 大協コンクリート(株) 藤川 正治 (佐賀県) " インフラテック(株) 松山 隆文 (鹿児島県)	担 当 理 事 (株)馬渡商会 * 馬渡 洋三 (佐賀県) 委 員 長 小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県) 副 委 員 長 H.O.C(株) 錦旗馬 清規 (長崎県) 委 員 安永セメント工業(有) 安永 大志 (福岡県) " 南九州コンクリート(株) * 田畑 和章 (熊本県) " 大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県) " 鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県)	委 員 九州共立大学 教授 牧角 龍彦 (福岡県) " 福岡大学 教授 添田 政司 (福岡県) " 九州大学 教授 濱田 秀則 (福岡県) " 佐賀大学 教授 伊藤 幸広 (佐賀県) " 長崎大学 教授 原田 哲夫 (長崎県) " 熊本大学 教授 村上 聖 (熊本県) " 大分大学 教授 佐藤 嘉昭 (大分県) " 宮崎大学 名誉教授 中澤 隆雄 (宮崎県) " 鹿児島大学 教授 武若 耕司 (鹿児島県)	委 員 長 インフラテック(株) * 松崎 秀雄 (鹿児島県) 副 委 員 長 (株)ヤマウ * 中村 健一郎 (福岡県) 副 委 員 長 (株)ヤマックス * 茂森 拓 (長崎県) 委 員 (株)九コン * 下瀬 博貴 (福岡県) " 小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県) " 不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県) " 不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県) " 大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県) " 九州中川ヒューム管工業(株) * 酒井 久典 (宮崎県) " 鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県) " (株)技建 * 津波古 義秀 (沖縄県)

■平成26年度第一回KyUPEC会議

平成26年8月20日(火)、平成26年度KyUPEC会議が福岡市で開催され、KyUPEC学界正会員、理事、技術委員の多数が出席しました。

会議では、各委員会からの報告・要望事項が説明され、その後出席者全員での質疑応答や意見交換が活発に行われました。

日時 平成26年8月20日(水)
11時30分～13時30分
場所 八仙閣(福岡市)

【協合理事・監事】松崎会長、岸川理事・入江理事(総務企画委員会)／上田理事・馬渡理事・村上理事・尾堂理事(広報委員会)／池永理事(市場調査委員会)／下瀬理事・酒井理事(技術委員会)

【技術委員】河野委員長・山本副委員長・久野委員・松田委員

①総務企画委員会
総会例会開催時の参加依頼
②広報委員会
広報誌への寄稿依頼



KyuPEC会議全景

③市場調査委員会
市場調査報告書の掲載内容
④技術委員会
プレコン管理士制度の説明
⑤危機管理委員会
行政との防災協定締結への取り組み

【意見交換時の主な発言(抜粋)】
・プレコン管理士制度だけでなく、それと同時に検査制度を立ち上げて運営していかないと意味がない。
・大学側としては地域会員社と連携した共同研究等を推進していきたい。
・業界がひとまとまりになることで、行政に対するロビー活動が可能となる。組織率が低いのは行政との連携は難しいので、会員増強に注力して欲しい。

行政との災害協定を締結するためには、会員全社の覚悟が必要となる。やる気があればすぐにも協定が締結できる自治体もある。一気に九州全域での締結を目指すのではなく、すこしずつ活動してはどうか？

協会広報誌Conpasで、協会の認知度を証明する官民連携の取組みについては、更に掘り下げた内容の記事を掲載すべき。

現在の協会の活動はボランティアや技術的対応に終始しているように見える。もっと利益に直結した活動を推進してはどうか？ たえば、新商品を開発して「協会型製品」として各県の垣根を取り壊した九州統一製品等を作れば、会員増強のツールにもなり得ると思う。また、協会型製品を開発する場合のテーマとして「災害関連商品」を対象を絞ってはどうか？

今後、この会議で学界正会員の先生方からいただいた貴重なご意見を含めて、理事会を始めとした各委員会の活動を推進していくことを確認して、KyUPEC会議は閉会しました。

■九州建設技術フォーラム実行委員会参画報告



『建設技術の開発・活用・普及促進のために、産・学・官(企業・大学・行政)それぞれが新技術の開発・活用の最新情報等に関する取組みについて情報を発信・交換し、技術情報の展示、プレゼンテーションなどの形をとりながら連携を深め、九州における更なる建設技術の発展を目指す』ことを主題とした「九州建設技術フォーラム2014」が昨年度と同様に二日間にわたって開催されます。当協会は、このフォーラムの趣旨に賛同し、実行委員会に参画しております。



- ※九州建設技術フォーラム実行委員会名簿
- 委員長**
日野 伸一(九州大学副学長)
- 副委員長**
国土交通省九州地方整備局 企画部長
福岡県土木整備部長
(社)日本建設業連合会九州支部長
(社)福岡県建設業協会九州支部長
(社)建設コンサルタンツ協会九州支部長
- 委員**
【学】
(一社)日本建設業連合会九州支部、(社)福岡県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、(一社)日本道路建設業協会九州支部、(一社)日本橋梁建設協会九州事務所、(一社)日本建設機械施工協会九州支部、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部、(一社)日本埋立浚渫協会九州支部、(二社)全国測量設計業協会連合
- 【産】
(一社)日本建設業連合会九州支部、(社)福岡県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、(一社)日本道路建設業協会九州支部、(一社)日本橋梁建設協会九州事務所、(一社)日本建設機械施工協会九州支部、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部、(一社)日本埋立浚渫協会九州支部、(二社)全国測量設計業協会連合



投稿 歓迎!!

掲載された方には薄謝を進呈いたします

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会事務局
熊本市中央区水前寺3-9-5
(株)ヤマックス内
(〒862-0950)
TEL 096-381-8999
http://www.k-conpas.jp

送り先

広報委員会では会員の皆様からの投稿をお待ちしています。情報、意見、エッセイ、漫画など、内容は自由です。お気軽にお送りください。なお、紙面の都合上、原稿の一部を削除、変更したりする場合がありますが、その時はご了承ください。

この度、6月の通常総会では、からずも大役である副会長の選任を受けました。微力ではありますが、皆様方のご支援とご協力を頂きまして、協会の運営に努力して参りたいと思っております。よろしくご願ひ申し上げます。

まずはじめに、コンクリート製品業界の取り組みテーマとしては、新しい業界構造の構築や市場環境の創出、新規需要開拓などが、その一環として、防災・景観・リサイクルといった新たな社会的ニーズを事業に最大限活かすことが大事ではないかと考えています。特に一昨年の九州北部豪雨災害や今回大きな土砂災害をもたらした広島市の豪雨など、今後我々コンクリート製品業界が地域の防災・減災に果たす役割は益々大きくなると思っております。

このように、業界が抱える課題に対処するには、当協会の力が必要であり、そのためには会員数の増加が重要となつて参ります。



副会長就任メッセージ 中村 健一郎

まず、まだ九州・沖縄地区において当協会へ入会されていないメーカーも数多くおられますので、まずは協会に何が望まれているのかという業界ニーズを汲み取り、併せて協会活動の実績等を十分PRして会員の増加を目指したいと思います。

もう一つは、当協会設立以来 KYUPEC 学界正会員の先生方の助言等も受けながら、コンクリート製品業界の認知度を高めることを目指し、業界技術者の技術力向上を目的として長年にわたって技術委員会が議論を尽くされた「プレコン管理士制度」が、昨年4月に立ち上がり、今年3月に初めての試験を実施しました。今後、コンクリート製品の製造・管理に特化したこの資格制度を運用することにより、業界技術者の技術力を高めるなど更なる充実を図りたいと思っております。

最後に、新任副会長として協会活動に全力で邁進して参りますので、皆様のご指導ご協力を御願ひ致しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



九州建設技術フォーラム 2014開催概要(予定)

日時 平成26年10月22日(月) 10月23日(火) の二日間

場所 福岡国際会議場(福岡市)

技術情報の提供

- ブース展示**
応募された技術を、分類ごとにブースにて展示を行います。
※1Fロビーは実演が主体の展示です。
- プレゼンテーション**
応募された技術を、分類ごとに発表を行います。(発表12分、質疑応答3分)
【学会・発注者の情報提供】
◎土木学会 ◎地盤工学会
◎九州橋梁・構造工学研究会
◎九州地方整備局
◎九州の各県自治体
- 新技術相談**
九州地方整備局員が、新技術に関する相談に対応致します。お気軽にお立ち寄り下さい。(場所は会場受付横)
- ポスターセッション**
主催団体や大学等の若手研究者の発表の場です。
- 出展技術及び新技術関連概要の配布**
今回応募された技術と新技術関連の技術概要をとりまとめたCD-Rを来場者に配布いたします。

継続教育(CPD登録)について
当フォーラムでは、(公社)土木学会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会等のプログラム認定を受ける予定です。

◆当協会が本フォーラムの実行委員会に参画して以来、協会会員社が毎年、技術情報の出展をしております。出展にあたっては、実行委員会参画団体として優遇が受けられます。出展申込をされる場合は、事務局までご相談下さい。
※今年度のフォーラム出展申込は8月22日で終了しております。ご了承ください。

Program

10/23[木]	9:30~【受付開始】2Fロビー	10/22[水]	12:30~【受付開始】2Fロビー
10:00~16:30	【技術情報の提供】1Fロビー/2F多目的ホール ◎ブース展示 ◎プレゼンテーション ◎新技術相談ほか	10:00~13:15	【開会式】3Fメインホール 実行委員長挨拶
11:00~11:50	【基調講演】3Fメインホール 「高まる建設ロボットへの期待」 ~建設ロボットの現状と今後の展望~ 講師 立命館大学理工学部 環境システム工学科 教授 建山 和由氏	13:15~14:05	【基調講演】3Fメインホール 「建設技術開発への新たな視点」 講師 京都大学名誉教授 嘉門雅史氏
		14:05~17:10	【技術情報の提供】1Fロビー/2F多目的ホール ◎ブース展示 ◎プレゼンテーション ◎新技術相談ほか

九州建設技術フォーラム2014開催概要(告知)

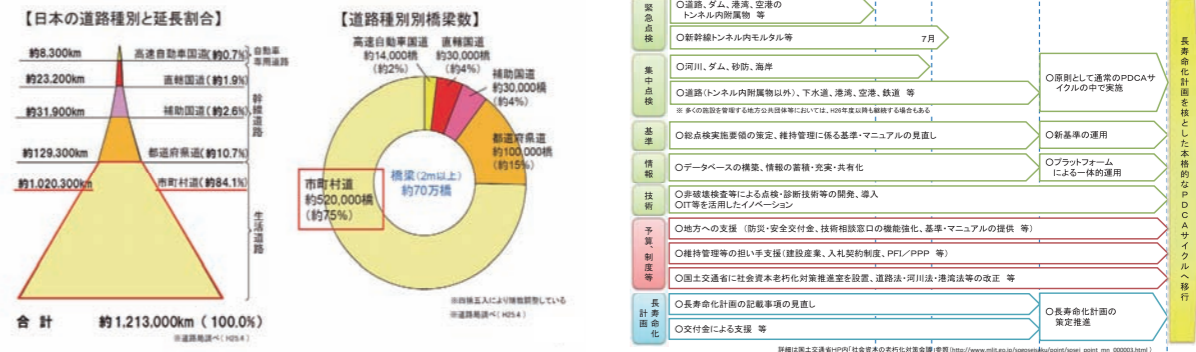
前頁より

前頁より

TEC-FORCE活動

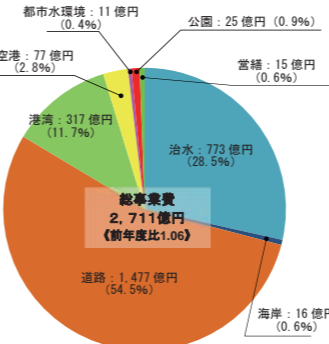
- 平成25年7月 山口・島根豪雨災害への派遣 (山口市・萩市・津和野町に派遣)
- 平成25年9月 近畿地方豪雨災害への派遣 (京都府綾部市に派遣)
- 平成25年7月 伊豆大島豪雨災害への派遣 (伊豆大島に派遣)

⑤ 社会資本の信頼性向上



2. 平成26年度の事業概要

平成26年度当初予算《直轄事業》



平成26年度事業の基本方針

平成26年度は「国民の安全・安心確保」及び「経済・地域の活性化」の分野に重点を置き、国民の命と暮らしを守る防災・減災、老朽化対策等を進めるとともに、基幹的交通インフラ整備の推進による国際競争力の強化、公共交通の活性化等による地域の活性化の取組みを推進

【参考】平成26年度 国土交通省関係予算(全国) 直轄事業: 24,403億円

平成26年度の主要事業

- ◎河川激甚災害特別事業
筑後川水系花月川・有田川(日田市)
白川水系白川・黒川(熊本市・阿蘇市等)
矢部川水系矢部川・沖端川(柳川市・みやま市)
- ◎主なダム事業
立野ダム建設事業(熊本県)
大分川ダム建設事業(大分県)
鶴田ダム再開発事業(鹿児島県)
本明川ダム建設事業(長崎県)
- ◎直轄火山砂防事業
桜島山系直轄火山砂防事業(桜島)
大淀川水系直轄火山砂防事業(霧島山)
雲仙山系直轄火山砂防事業(雲仙普賢岳)
- ◎東九州自動車道・西九州自動車道整備

平成26年度プレコン管理士技術講習会

平成26年9月2日(火)、グラメンッセ熊本(熊本県益城町)で平成26年度プレコン管理士技術講習会が開催され、会員・会員外社を含めて合計74名が受講しました。この「プレコン管理士制度」の講習会は今回で3年目の開催で、協会が発行している「プレコン管理技術者用テキスト(第2版)」に沿って各章担当の技術委員が内容を説明しました。



基調講演講師(前田禎夫氏)

各章担当技術委員の講習が終了した後、賛助会員社の麻生セメント(株)技術部・前田禎夫氏に、改訂されたJISについての対策について「コンクリート関連のJISについて」と題して講演をいただきました。この講演ではコンクリート製品の製造管理にターゲットを絞ったJIS改訂に基づく注意点などが説明され、日常業務に有効な情報提供となりました。



プレコン管理士講習会 会場全景



講習V 講師(久野技術委員)



講習IV 講師(隈田技術委員)



講習III 講師(山本技術副委員長)



講習II 講師(山口技術委員)



講習I 講師(松田技術委員)

本年3月にはじめての「プレコン管理士認定試験」を実施し、成績優秀者にプレコン管理士の認定を実施しました。今後、本講習会を通して会員各社の技術力向上を実現し、コンクリート製品業界の技術的認知度向上に向けた取組みを推進してまいりますので、多数の皆様のご受講・受検をお待ちしております。

③南海トラフ巨大地震への対応

■国土交通省 南海トラフ巨大地震対策・首都直下巨大地震対策本部会議（国土交通省）

○国家的な危機でもある南海トラフ巨大地震の発生に備えるべく、国土交通省として、広域的見地や現地の現実感を重視しながら、省の総力を挙げて取り組むべきリアリティのある対策を中間とりまとめ。

<応急活動計画>

地震発生時からの時間軸を念頭に置き、地震発生直後から概ね7日～10日目までの間を中心に、省として緊急的に実施すべき主要な応急活動とあらかじめ平時から準備しておく事項。（例：陸海空の早期啓開、緊急排水／全国からのTEC-FORCE派遣／避難者に必要な物資の広域輸送／列車や航空機等の安全確保）

<戦略的に推進する対策>

地震による揺れ・津波等による甚大な人的・物的被害を軽減するため、省として取り組むべき中長期的な視点も踏まえた予防的な対策。（例：住宅、建築物、宅地の耐震化等／津波浸水を軽減させる河川管理施設の整備等／津波防災性や信頼性の高い緊急輸送等の交通基盤の整備）

■国土交通省 南海トラフ巨大地震対策 九州ブロック地域対策会議

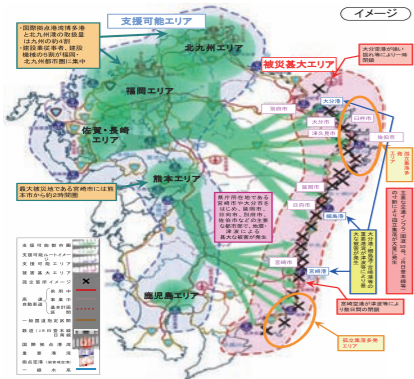
九州ブロック地域対策計画【第1版】(H26.4.1公表)

- ◎九州における地域特性や深刻な事態を想定して、九州ブロックの地域対策計画【第1版】を策定。
- ◎巨大津波が到達する20分間程度で、迅速な避難ができる施策を推進し、人命を守る。
- ◎甚大な被災が想定される九州東側沿岸部へ、比較的影響が小さいと想定される九州西側等から迅速な支援活動を実施。

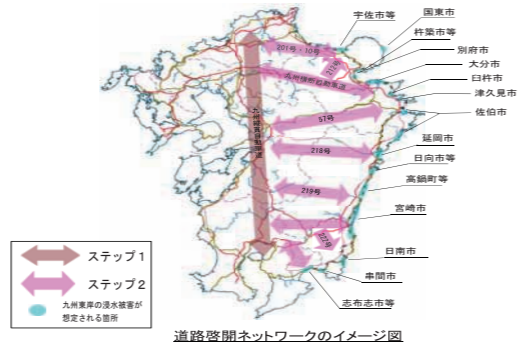
【策定主体：九州ブロック地域対策会議】

- 国土交通省九州地方整備局
- 国土交通省九州運輸局
- 国土交通省大阪航空局
- 海上保安庁第七管区海上保安本部
- 海上保安庁第十管区海上保安本部
- 気象庁福岡管区気象台
- 国土交通省国土地理院九州地方測量部

南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される深刻な事態



地震・津波発災後からのオペレーション（案）の検討



「地震・津波発災後からのオペレーション（案）」の検討

・発災直後より優先して啓開を行う主要な道路「啓開重点路線」を設定

- 各道路管理者は発災後、調査、啓開に努める。
- 【九州中央部の縦軸】九州縦貫自動車道 等
- 【九州東岸へ向かう横軸】九州横断自動車道、国道57号・218号・222号等

・今後、啓開訓練の実施及び検証を行い、本オペレーション（案）へ反映（PDCA）し、発災後における迅速かつ的確な啓開活動の確立に向けた検討を重ねていく。

■九州の被害特性

- ①宮崎県では震度7の地震が宮崎市等で発生し、低層住宅を中心に家屋倒壊。
- ②5m以上の津波が20分から30分程度で到達する等、沿岸部の広域なエリアが浸水し津波による死者が5万人を超える。
- ③大分県では南部のリアス式海岸の湾奥部に当たる臼杵市・津久見市・佐伯市で行政機関も含めた市街部での浸水。
- ④南北に走る東軸の幹線（JR日豊本線、JR日南線、国道10号・220号等）は、海岸線の低い位置に集中しており、約70力所もの孤立集落が点在して発生。
- ⑤大分市・延岡市・日向市野工業地帯で浸水し、サプライチェーンの分断による経済・産業活動への影響が大きい。

■対策計画コンセプト

- I. 巨大津波が到達する20分程度で、迅速な避難ができる施策を実施し人命を守る。
- II. 九州経済・人材・資機材の5割が集中する福岡・北九州・熊本市圏から分散点する被災地への迅速な支援

④地域防災力の向上（安全・安心の確保）

■命を守る（市町村との協定）

大規模災害時において、国・県・市町村間で応援に関する協定をあらかじめ締結し、災害に備える。

【応援に関する内容】次の事項に係る資機材や職員の応援に関するもの

- ①施設の被害状況の確認 ②情報連絡網の構築 ③現地情報連絡員（リエゾン）の派遣 ④災害応急措置

■これまでの自治体支援とTEC-FORCE活動

自治体支援

平成24年7月 九州北部豪雨災害での自治体支援

- ・被災当日の7/3～8/10までの間、TEC-FORCE222名（述べ781人・日）を派遣。要請を受けた自治体及び直轄の被災個所で被災状況の調査・分析、復旧に向けた技術支援・排水作業等を実施。
- ・被災当日の7/3～7/27までの間、福岡・熊本・大分の3県と、その18市町村に整備局員を現地情報連絡班（リエゾン）として派遣。
- ・自治体の要請を受け、画像送信機器（衛星通信車）・排水ポンプを派遣

平成26年 熊本県内における鳥インフルエンザへの対応

- ・熊本県球磨郡多良木町の農場から「H5」型の鳥インフルエンザ検出。発生当日から熊本県、多良木町、相良村、宮崎県、鹿児島県にリエゾン派遣。照明車・散水車や災害対策機械の支援を実施。

■第八回（平成26年度）通常総会時の基調講演（抜粋）

国土交通省九州地方整備局

防災・減災の取り組みについて

総括防災調整官 下田 孝徳氏



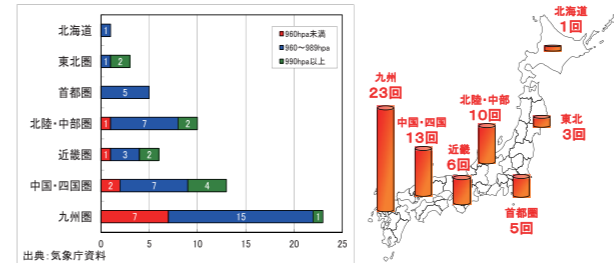
基調講演講師 下田総括防災調整官

1. 九州の安全・安心のために

※当日の講演データが必要な場合は、事務局までお知らせください。

①九州における災害リスク

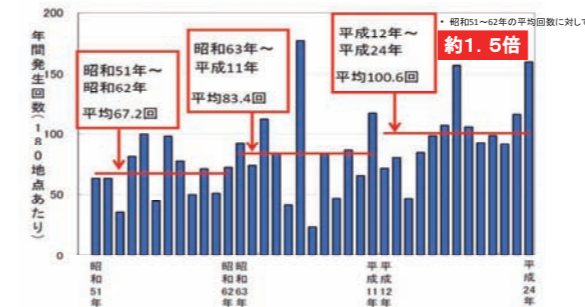
地域別台風上陸回数（1991～2012）



九州地方の火山活動レベル



1時間降水量50mm以上の年間発生回数（180地点あたり）



九州管内の災害発生リスクは『勢力の強い台風上陸』『近年の大雨の発生』『活発な活動が続く火山活動』など、様々な要因が顕在化している。

②気候変動による影響

■世界における気温・海面の上昇→今世紀末（2100年）までの世界平均地上気温の変化予測は0.3～4.8℃である可能性が高い。また、世界平均海面水位の上昇予測は0.26～0.82mである可能性が高い。

■日本における将来予測→年平均気温は全国的に2.5～3.5℃の上昇が予想され、大雨や短時間強雨の発生頻度が全国的に増加する。また、日本近海海面水温は長期的に上昇する見込み。

■外力の増大と国土・社会への影響→今世紀末（2100年）までに日降水量が100mm以上となる豪雨日数は、現在の年3回程度から、最大10回程度に増加の予測。河川の基本高水を超える洪水の発生頻度が現在の4.4倍に増加するおそれあり。また、1m海面が上昇すると、砂浜は100m後退することから、我が国の砂浜の約90%が浸食されるおそれあり。

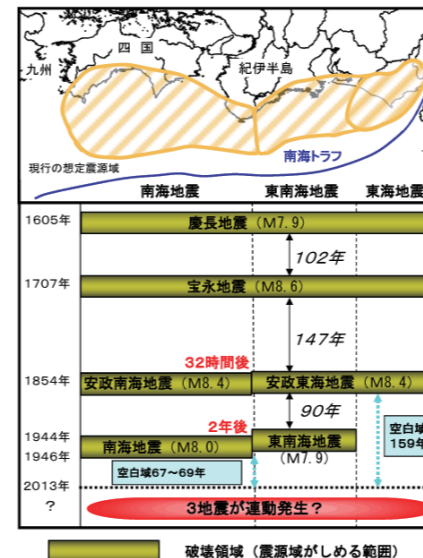
③南海トラフ巨大地震への対応

南海トラフ巨大地震により想定される被害

	マグニチュード	浸水面積	浸水域内人口	死者・行方不明者	建物被害（全壊棟数）
東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）	9.0	561 km ²	約82万人	21,377名	126,574棟
南海トラフ巨大地震（被害想定）	9.0	1,015 km ²	約163万人	約323,000名	約2,386,000棟
倍率		約1.8倍	約2.6倍	約15倍	約19倍

南海トラフ巨大地震の九州での被害想定

県	浸水面積	死者・行方不明者	建物被害（全壊棟数）
福岡県	250 ha	約10人	約300棟
佐賀県	—	—	約20棟
長崎県	1,860 ha	約80人	約400棟
熊本県	310 ha	約20人	約3,200棟
大分県	6,150 ha	約17,000人	約31,000棟
宮崎県	12,390 ha	約42,000人	約83,000棟
鹿児島県	6,650 ha	約1,200人	約5,900棟



■南海トラフでは100年から150年程度の周期でM8クラスの海溝型地震が発生しており、東海、東南海、南海地震の三つの震源域が同時または、一定の時間差をもって動くことによる地震が過去発生。

■東海地震の領域は発生から159年経っており、また、東南海・南海地震については前回地震から60年余りが経過していることから、今世紀前半にもこの地域での地震の発生が懸念。